

小学校 第1学年 学級活動指導案

- 1 活動名 「お月見って何だろう」
- 2 本時のねらい
お月見という行事の意味とそれにちなんだ食べ物について知ることにより、お月見集会を成功させようとする意欲をもつ。(関心・意欲・態度)
- 3 食育の視点
地域の伝統や気候風土に深く結び付き、先人によって培われてきた多様な食文化があることを知る。
(食文化)
- 4 指導過程

段階	学習活動と予想される子どもの表れ	・支援 ・留意点 ☆評価
つかむ	T1：(写真提示) この人たちは何をしているのだろう。 ・みんなで集まっている。 ・飾り付けがしてある。 ・お供えがしてある。 ・お月見をしていると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・T1：お月見の様子の写真子どもたちに提示し、お月見への興味・関心をもたせる。
	T1：お月見という行事には、どんな意味があるのだろう。 ・みんなで秋が来たことを喜んでいると思う。 ・お月さまがきれいだから、みんなでお祝いしていると思う。 ・秋にとれたものをお供えして、ありがとうの気持ちを込めてお祝いする。	
つくる	T1：どんなものが供えられているかな。 ・さつまいも ・さといも ・団子 ・栗 ・すすきもある。 ・秋にとれるものが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・T1：お月見という昔から伝わる行事には、意味があることを押さえる。 ・T2：お月見にちなんだ給食の料理に使われている食材から、秋は収穫の季節であることを伝える。 ・T1：育てたさつまいもがもうすぐ収穫できることを伝えて、秋に採れるものをお供えすることの意味を押さえる。
	T1：お月見集会では、みんなでどんなことをやりたいか考えよう。 ・歌を歌いたい。 ・秋の食べ物クイズをやりたい。 ・おまんじゅうを作りたい。 ・採れたさつまいもをみんなで食べたい。	
高めめる	T1：今日の学習で、思ったことをワークシートにまとめよう。 ・お月見に関係がある食べ物が分かった。 ・お月見集会では、お団子作りをして、みんなで食べたい。 ・お月見集会では、たくさんの秋の食べ物を用意して、お月さまにしっかりお礼をしたい。 ・秋のものをいっぱい飾りたい。 ・みんなで秋の歌を合唱するのもいいね。	<ul style="list-style-type: none"> ・T1：お月見集会を行うことを伝え、お月見に興味もてるようにする。 ・T1：十五夜だけでなく、十三夜もお月見をすることを伝える。
まとめる		<ul style="list-style-type: none"> ☆お月見集会を成功させようとする意欲をもつことができたか。(ワークシート)

小学校 第3学年 学級活動指導案

- 1 活動名 「地域の食べ物について知ろう」
- 2 本時のねらい
地域の食材をその地域で消費することのよさを理解し、大切にしていこうとする意欲を高める。
(関心・意欲・態度)
- 3 食育の視点
日常の食事は地域の農林水産物と関連していることを理解し、それらを大切にしようとする気持ちをもつ。
(食文化)
- 4 指導過程

段階	学習活動と予想される子どもの表れ	・支援 ・留意点 ☆評価
つかむ	T1：これは、何の形だろう。 ・どこかの島。 ・池の形。 ・よくわからない。一体何だろう。 ・〇〇市の形に似ているような気がする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1：〇〇市の白地図を用意する。 ・ T1：社会科での学習を思い出し、自分たちの住んでいる地域に興味をもたせる。
	T1：地域で作られている食べ物のことを調べよう。	
つくる	T2：〇〇市でとれた食べ物を今日の給食の中からさがそう。 ・難しいな。本当にあるのかな。 ・みかんがそうだよ。 ・しらすもある。 ・お茶はどうだろう。 ・キャベツも〇〇産だと思います。 ・大根も家の近くで作っている畑があった。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T2：献立表の中にヒントがあることを伝え、給食でも地域の生産物がよく使われていることに触れる。 ・ T1：地図を使って、とれる場所から給食センターまでの距離を知らせる。
	高めめる T1：地域でとれた食材を使うよさを考えよう。 ・新鮮なものが使えるところ。 ・運ぶのに自動車をあまり使わなくて環境にいい。 ・近くの農家の人を作ってくれるので、安心して食べられる。 ・学校給食で使うから安全を考えてくれている。 ・安いと思う。	
まとめる	T1：今日勉強して分かったことをワークシートにまとめよう。 ・私たちのことを考えて作ってくれているから、残さないで食べるようにしよう。 ・農家の人がおいしくできるように工夫して育ててくれているから、感謝しながら食べたいと思った。 ・地域でとれた食べ物は、新鮮でおいしくて安全なもの多いから、これからは家でも食べたい。 ・この地域で作られる野菜はとてもおいしいから、これからも大切にしていかななくてはいけないと思いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T2：育てている人の話をビデオまたは手紙等で伝え、地域の食材を食べることのよさを押さえる。 <p>☆地域の食材を大切にしていこうとする意欲を高めることができたか。 (ワークシート・発表)</p>

小学校 第5学年 家庭科学習指導案

- 1 題材名 「作っておいしく食べよう 本日発表！家族に食べてもらいたいごはんのみそ汁」
- 2 本時の目標
みそ汁の実の選び方や材料の切り方を知り、家族に食べてもらいたいみそ汁の調理実習の計画を立てることができる。(創意工夫)
- 3 食育の視点
日常の食事は、地域の農林水産物と関連していることを理解する。(食文化)
- 4 指導過程

段階	学習活動と予想される子どもの表れ	・支援 ・留意点 ☆評価
つかむ	T1：家ではみそ汁の実に何を使っているのだろう。 ・豆腐を使っている家が多い。 ・いろいろな野菜がある。 ・私の家では入れたことのない実もある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1：事前に家庭のみそ汁の実についてアンケートを取り、いろいろな実があることに気付かせる。
	T1：家族に食べてもらいたいみそ汁を作る計画を立てよう。	
つくる	T1：みそ汁の実はどのように選んだらよいのだろう。 ・実の取り合わせによって栄養のあるみそ汁になる。 ・彩りがきれいだと、おいしそうに見える。 ・家族の好きな実を入れたら喜んでくれる。 ・おじいちゃんが畑で作っている野菜を入れて作りたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T2：給食のみそ汁に使う実の選び方を説明する。 ・ T2：実の取り合わせによって、いろいろな味のみそ汁になること、多くの食品が食べられるよさがあることに気付かせる。
	T1：家族のために作りたいみそ汁の実の取り合わせをワークシートに書き、友達に紹介しよう。 ・私はお母さんにみそ汁を作るよ。豆腐と油揚げが好きだから、その組み合わせにした。 ・栄養のある季節の野菜を使ってみそ汁を作る。 ・ぼくはおじいちゃんにみそ汁を作るよ。おじいちゃんが畑で育てている野菜を使って、彩りのよいみそ汁を作りたい。	
高める	T1：自分の考えたみそ汁の調理計画を立てよう。 1 鍋に、水と煮干しを入れる。 2 材料を洗い、ねぎは小口切り、わかめと豆腐は食べやすい大きさに切る。 3 だしをとる。 4 実の材料を入れる。(煮えにくいものから入れる。) 5 みそを入れる。 ・大根とさつまいもはどちらを先に入れたらよいのだろう。 ・2人分のほうれん草の分量はどのくらいかな。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T2：季節の野菜や地域の特産物にはどんなものがあるかを紹介し、それらを使うとよいことにも触れる。 ・ T2：実を決めるのに迷っている児童にアドバイスをする。 ・ T1：基本的なみそ汁の作り方を黒板に提示する。 ・ T1：2人分作ることを伝える。主な材料は2人分の分量を実物で提示しておき、参考にさせる。 ・ T2：材料の切り方や入れ方を説明する。 ・ T2：分からないことが聞けるよう、ヒントコーナーを設ける。
	T1：今日の学習で分かったことをワークシートに書こう。 ・実の選び方は、季節の物や地域のものなどを使うとよいことが分かった。 ・みそ汁の計画を立てることができたので、家族が喜ぶおいしいみそ汁を作りたい。	
まとめる		☆家族に食べてもらいたいみそ汁の調理実習の計画を立てることができたか。(ワークシート・発表)

中学校 第2学年 技術・家庭科学習指導案

1 題材名 「地域の食材を使った給食の献立を考えよう」

2 本時の目標

地域の食材である「あしたか牛」のよさや特徴について知り、地域の食材の活用や栄養バランス等を考えながら、「あしたか牛」を使った給食一食分の献立を考えることができる。(工夫・創造)

3 食育の視点

- ・地域の農林水産物について理解し、尊重する心をもつ。(食文化)
- ・栄養バランスや嗜好等の様々な角度から、望ましい食事について考えることができる。(心身の健康)

4 指導過程

段階	学習活動と予想される子どもの表れ	・支援 ・留意点 ☆評価
つかむ	<p>T1：給食の献立はどんなことに気を付けて考えているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり栄養バランスだよ。 ・私たちの好みも考えていると思う。 ・安くて新鮮でおいしい、地域の食材を使うようにしていると思う。 ・給食は一食の金額が決まっているから、予算も考えていると思う。 ・全体の彩りを考えて、食欲がわくようにしてくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T2：学級で一つ選ばれた献立が給食に取り入れられることを伝え、意欲を高める。 ・T2：意見が出ない時は、給食一食分の献立を考える時のポイントを伝える。
つくる	<p>T1：地域の特産物である「あしたか牛」の特徴は何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな料理にしても肉がやわらかくておいしい。 ・一年中食べられる。 ・昼の放送で、地域の食材だから、新鮮で安いと紹介されていた。 ・地域の特産物は、生産者が分かるから、安心して食べられるね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T2：「あしたか牛」の特徴や地域の食材を使うよさについて考えられるよう、給食のメニューの写真を用意する。
高める	<p>T1：「あしたか牛」を使った給食の献立を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼き肉か野菜炒めがいい。地域で採れた新鮮な玉ねぎも使おう。野菜たっぷり栄養バランスもよさそう。他のおかずはあっさりした物がよい。 ・キムチ炒めはどうだろう。でもあまり辛いと辛いのが苦手な人や小学生は食べられない。 ・肉巻きがいい。から揚げみたいに揚げたものも食べてみたい。何を巻こうかな。地域の食材で何かあるかな。付け合わせは野菜の和え物がよい。いろいろな野菜を使うと彩りもいいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T2：なかなか献立を考えることができない生徒がいたら、個別に助言をする。 ・T2：献立作成のための資料を活用してもよいことを伝える。
まとめる	<p>T1：自分が考えた「あしたか牛」を使った献立を、班の中で発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・彩りがよくておいしそう。家で作ってみようかな。 ・旬の食材がいっぱい使われている。 ・栄養もしっかり摂れそう。 ・地域の食材がたくさん使っている。 ・これなら栄養バランスもよい。 ・みんなが喜びそうな献立ができた。 	<p>☆「あしたか牛」を使った給食一食分の献立を考えることができたか。 (ワークシート)</p>

特別支援学校 中学部 家庭科学習指導案

1 題材名 「地域に伝わる郷土料理について学ぼう」

2 本時の目標

地域に伝わる郷土料理についての理解を深め、郷土料理「おざく」を作ることに意欲をもつ。
(関心・意欲・態度)

3 食育の視点

- 自分たちの住む地域には、昔から伝わる料理や季節、行事にちなんだ料理があることを理解する。
(食文化)
- 生産者をはじめ、多くの人々の苦労や努力、自然の恩恵に支えられていることに感謝の思いをもつ。
(感謝の心)

4 指導過程

段階	学習活動と予想される子どもの表れ	・支援 ・留意点 ☆評価
つかむ	T1：みんなの住んでいる地域には、どのような郷土料理がありますか。 ・おけんちゃん ・ピーナッツなます ・ゆで落花生 ・富士宮焼きそば ・おざく	<ul style="list-style-type: none"> T1：前時に調べた地場産物や、郷土料理について思い出させる。 T2：郷土料理とはどのようなものか説明する。 T2：郷土料理と御当地グルメの違いを伝える。
つくる	T1：郷土料理には、どんなよいところがあるのだろう。 ・地域の産物を使っているところがよい。 ・体にもよさそう。 ・味がよい。 ・おばあちゃんの味みたい。なつかしい味。 ・昔から受け継がれている家庭の味。	<ul style="list-style-type: none"> T2：郷土料理は四季の恵みや郷土の特色を生かしたものを使っていること、昔から、その土地の食材が使われ、体にもよいことを伝える。
高める	T1：栄養士さんから、昔から地域に伝わる郷土料理のお話を聞こう。 ○T2から郷土料理のよさについて説明する。 T1：三島の郷土料理「おざく」について調べてみよう。 ○次の時間に調理実習を行うことを予告する。 ・〇〇先生（T1）が住んでいる三島市の郷土料理だね。 ・パンフレットに詳しく載っているよ。 ・「箱根西麓野菜」を使っていると書いてあります。 ・函南町でも作られている。	<ul style="list-style-type: none"> T1：「おざく」はどんな料理なのかを伝える（資料の提示） T1：次の時間に作る「おざく」に対する期待感をもたせる。
まとめる	T1：「おざく」のよいところについて、今日学習したことを思い出しながらワークシートにまとめよう。 ・地元で採れる野菜（箱根西麓野菜）だけで作られている。 ・味がしみておいしそう。 ・昔からの家庭の味が伝えられている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆郷土料理のよさについて理解し、おざくを作ることに意欲をもつことができたか。（ワークシート）